

(広報資料)



令和3年6月4日
京都市文化市民局
京都文学賞実行委員会

担当：文化芸術都市推進室文化芸術企画課
電話：366-0033

新たな協力出版社の参画について

京都市では、文学の更なる振興や「文化都市・京都」の発信等に寄与するため、京都文学賞実行委員会を立ち上げ、「京都文学賞」を創設しており、4月30日（金）から、第3回作品及び読者選考委員を募集しています。

この度、毎日新聞出版に本文学賞に御協力いただくことになり、これまでの出版社と合わせ、協力出版社が17社となりましたので、お知らせします。

記

1 趣旨

本文学賞では、文学の更なる振興や「文化都市・京都」の更なる発信のほか、新人作家の発掘や育成をコンセプトの一つとし、受賞作の出版や書店における展開など、受賞後も作家を幅広く支援できる体制の構築を目指しており、多くの出版社に協力を頂いている。

2 新規協力出版社

毎日新聞出版

※ これまでから御協力いただいていた、朝日新聞出版、KADOKAWA、河出書房新社、幻冬舎、講談社、光文社、集英社、小学館、祥伝社、新潮社、早川書房、PHP 研究所、双葉社、文藝春秋、ポプラ社の15社及び今年度から参画いただいた淡交社と合わせ17社となった。

3 備考

第1回一般部門受賞作は、以下のとおり協力出版社から刊行され、第2回一般部門・海外部門最優秀賞受賞作『鴨川ランナー』（作者 グレゴリー・ケズナジェット氏）は、講談社から令和3年秋頃に刊行予定。

○最優秀賞 『羅城門に啼く』（作者 松下 隆一氏、『もう森へは行かない』を改題）
新潮社（令和2年11月刊行）

○優秀賞 『屋根の上のおばあちゃん』（作者 藤田 芳康氏、『太秦——恋がたき』を改題）
河出書房新社（令和2年11月刊行）